



変わる表示 ③

鶏卵業界 自主的に規制

りの差が本当にあるのか、消費者には見えにくい。

そこで近く卵の商品名やラベルの表示などの見直しが行われる。業界内の自主的な規制ルールである「鶏卵の表示に関する公正競争規約」が3月27日に全面施行されるのだ。

①「天然卵」「自然卵」などの表現は認めない②「栄養強化卵」と表示する場合、通常の卵と比べてどの栄養成分がどれだけ多いかを具体的な数値で示す――などが新ルール。あいまいだった表示の基準が明確になる。

「栄養強化」「大地で飼育」「甘みとこくがある」――。東京都内の高級食品スーパーには、さまざまな宣伝文句のついた卵が並ぶ。値段は1個あたり20円から60円まで、3倍の違いがある。が、値段通

①「天然卵」「自然卵」など同規約を運用するのは、鶏卵公正取引協議会。生産者や

「鶏卵の表示に関する公正競争規約」で定められた主な用語の使用基準

平飼い 鶏舎内か屋外で、鶏が床面・地面を自由に運動できるようにして飼育した場合

放し飼い 平飼いのうち、日中の過半を屋外で飼育した場合

地卵 採卵地が属する市・郡の区域内で流通・消費されることが予定される鶏卵

有精卵 雌100羽に対して雄5羽以上の割合で飼育し、自然交配で受精可能な環境だと確認された場合

特選・厳選・最高級・極上 他の鶏卵に比べ、品質などで特に優れていると、あらかじめ鶏卵公正取引協議会で承認を得た場合

天然・自然 「天然卵」「自然卵」は不可。ただし、卵を直接修飾しない表現なら、あらかじめ鶏卵公正取引協議会で承認を得れば使用可



後藤孵卵場では「初たまご」の名称を「こたまちゃん」に変更する作業を進める

商品名やラベル 賞味期限も統一へ

流通業者など約200業者が加盟する。各事業者は、審査で認められれば、適切な表示を示す「公正マーク」を写真を商品ラベルなどに使用できる。

規約に加盟者が違反した場合は、協議会が警告や違約金徴収、除名などの措置をとることができ



基準は示されていないが、消費者の食品表示への関心が高い中、誤解を与えかねない商品名は避けるべきだと判断した」と説明する。

規約では、これまで業者任せだった生食用卵の賞味期限について「産卵日から21日以内」という指針を設ける予定だ。

これまでの、様々な農場から集まってくる卵を産卵日ごとにまとめ直すのは面倒との考えから、大半の流通業者は「パック詰めした日」を起点に賞味期限を決めていた。

孵卵・養鶏業大手の後藤孵卵場(岐阜市)では、パック詰め卵「初たまご」の名称を、3月中旬から順次「こたまちゃん」に変更する。初卵とは、卵を産み始めたばかりの若鶏の卵を指す。しかし、産み始めからいつまでの若鶏の卵を「初卵」と呼べるかという基準がない。同社の担当者は「規約でも初卵の

賞味期限 「おいしく食べられる期間」で、品質の劣化が比較的遅い食品が対象。この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるというわけではない。3か月を超えるものは、年月の表

示でもいい。似たような表示である「消費期限」は、急速に劣化しやすいものが対象。この期間が過ぎたら食べない方がいい。一般に、弁当や総菜などで表示する。